



こくろうよなご

第4号

2025年10月10日

発行責任者 倉下文明

部 宣 教 集 編

つくろう職場に労働運動を！ ひろげよう闘いを 職場に、地域に、全国に！



預金は是非とも労働金庫、

10月1日、米子コンベンションセンターにて「中国労働金庫米子支店推進委員会」が開催され、労働金庫を取り巻く情勢や労働金庫を守り、発展させていくための課題などについて話がされました。

推進委員会では「中国5県の人口減少は今後も続くことから、労働の収益性にも大きく影響、経営効率を高める必要がある」「物価上昇による物件費の増加による収益力の低下」「採用競争の激化による要員の維持・確保が困難に」など、中国労働金を取り巻く厳しい情勢が報告されていました。その中で、「収益改善を図り、現状の店舗体制を維持する」ため、「店舗間連携や業務の効率化を図る」と

されています。

27年度から本格化する運用方法として、ブロック店長を中心とする一体運用として、「ブロック単位での計画・実績を一体で管理する」とされています。

このように、厳しさを増す金融業界の中で、労働金庫防衛のために奮闘いただいています。そして、労働金庫の当面する課題として強く訴えられているのは、「預金」が集まらないということです。

預金増加計画150

いよいよ決戦の時！！

10月12日告示、19日
投開票の日程で施行される浜
田市議会議員選挙に4回目の
当選を目指して、組織内議員
である「小川稔宏」氏が立候
補されます。

「子供からお年寄りまで安心して暮らせるまちをめざして」をスローガンに、①子供・女性がいきいきできる社会へ②人と人をつなぐ地域社会の絆③安全・安心な暮らしの実現④活力あるまちづくりの実現を訴え闘ってきた選挙戦も、あっという間に告示を迎えることとなりました。

小川候補は、3期12年間、働くもの・生活者の視点で、取り分け社会的に弱い立場に置かれた方の目線での政策の実現を目指して全力で駆け抜



けてこられました。

直近4年間でも、「ヤングケアラーのサポート体制について」「教育と教職員の魅力化」「医療体制・福祉施設の充実と介護事業者支援」「地域産業の支援・公共交通の充実・労働環境の改善」「カスタマーハラスメント対策と防止条例」など議会にて取り上げながら、困っている人を救済する為、奮闘されてきました。

小川候補が挨拶でよく話をされる「国鉄分割・民営化」攻撃で受けた差別や人権侵害に対して、身を挺して闘ってこられたことが、小川候補の闘いの原点であり、根拠でもあると言われています。

職場の労働環境の改善は勿論ですが、制度・政策要求の前進なくして、安心して生活を営める社会を築き上げることは出来ません。

現在、22名の定員に対して1～2名オーバの少数激戦が予想されています。

残された期間、まさに組織の総力を挙げ、小川候補を何としても議会へと送り出そうではありませんか。

百万円に對して、「とことん定期S」の取り組みなどにより、8月末時点までは100・6%の達成でしたが、8月以降、預金の流失が止まらず、7月・8月は目標も未達となりました。預金は、融資のための必要な資金であることはいうまでもありません。年末預金運動と合わせて、様々なキャンペーンへの参加など、預金増大の一層の取り組み強化を要請します。

ピンポンが鳴るやうに

「ピンポンパンポン」の指令の発するチャイムに、「また、何か起きたのか」と緊張が走り、列車へのあたりが少なそうだと「ほっとする」、そんな日々が続いていませんか。

先日新聞でも、

の路線でも発生」「伐採には人手と期間を費やすため対応が難しく、航空レーダーを使った伐採個所の選定や大型重機による短期間での集中伐採を導入し、解消に繋げる」などの記事を目にしました。

――JR西日本の沿線での倒木による列車遅延が増加、中国5県の倒木による遅延・運休の発生件数は5年間で倍増（2019年の25件が、24年は50件に）山間地を通る山陰

伯備線を中心に倒木・倒竹、あるいは落石などによる列車遅延が増えているとの実感はありました。倍にまで増えているとは、驚きと同時に、もっと早くに打ち手はなかったも

のかと会社の対応の遅さにも驚きました。

大雨など災害級の天候不順も多くなるなど、環境の変化という背後要因はありながらも、それにしても対応が後手に回っているのではないかと印象は拭えません。

列車が遅れるとお客様にご迷惑をおかけすることになり、対応する社員はクタクタになります。以前の交渉では、「異常時を見越した要員配置はしていません」と会社は言っていたが、そんなことを言っている場合ですか。